



私立短期大学図書館協議会 会報

【Bulletin of Junior College Library Association】



※メールマガジンへのご意見・お問い合わせ

会報担当：前川和子 (maekwkz@gmail.com)

====<目次>=====

- 【1】会長挨拶 齊藤誠一（千葉経済大学短期大学部）
名誉会長挨拶 毛利和弘（近畿大学）
- 【2】2023年度全国定期総会開催報告
- 【3】2023年度全国研修会開催報告
- 【4】事務局報告
- 【5】地区活動報告：北海道地区 東北地区 関東甲信越地区 東海・北陸地区
近畿地区 四国・中国地区（2020年度より休会） 九州地区
- 【6】災害対策と短期大学図書館 地区報告：北海道地区 東北地区 関東甲信越地区
東海・北陸地区 近畿地区 四国・中国地区（休会） 九州地区
- 【7】編集後記

【1】 会長挨拶

齊藤誠一（千葉経済大学短期大学部）

加盟館の減少が進む中、当協議会の運営につきましても厳しい状況が続いています。ただ、前向きな姿勢も大切だと思っています。2023（令和5）年度の全国研修会では、コロナ前のように対面で講演と交流が行われ、久しぶりに懐かしい顔を拝見する機会に恵まれました。また、初めてお目にかかる人との交流も進み、対面でのコミュニケーションの大切さを実感しております。

また、2024（令和6）年度には、新たに加盟してくださる短期大学図書館があると聞いており、私たちの仲間が増えることへの喜びを感じております。

さて、七年に一回の短期大学の第三者評価も順調に推移し、その中では、PDCAサイクルの考え方も定着してきています。

私たちの協議会も今の体制を改めて“C”チェックし、“A”アクションとして何ができるか、真摯に考える必要があると思います。

ここ数年の短期大学の動きは、当協議会の基盤を揺るがす事態であることはいまでもありません。短期大学の減少、予算や人員の削減などによって当協議会への加盟が難しくなっている図書館が増える中で、協議会自体の存在を揺るがす可能性もあります。

しかし、先人たちが築き上げてきた連携と仲間同士の助け合いの仕組みは、いまだからこそ必要なのではないのでしょうか。



一館でも仲間が増えるのであれば、加盟館の皆様と力を合わせて、この難局を乗り切る方策を考えていきたいと思っています。それが新たな図書館を迎え入れる私たちの責務だと思います。

“C”と“A”をきちっと考え、新たな“P”を模索し、そして“D”として実行していきたいと思っています。そのためには前向きな姿勢を崩さず、皆様と連携し、力を合わせて、PDCAサイクルを実行していくことが必要です。

なお、コロナ禍という負の出来事から、私たちが獲得したものがあります。それが積極的なICTの活用です。

先に、対面で行うコミュニケーションの有効性をお話ししましたが、コロナ禍で行われてきた“オンライン”による会議や研修会の有効性も改めて考えてみる必要があります。いままでは、研修会場まで足を運ばなければ受講できなかった研修内容を自館にいながらにして視聴できるメリットは、受講者の裾野を広げ、新たな知識・技術の習得にも役立つものとなっています。また、各地区協議会の理事とのコミュニケーションにも役立つはずで

す。コロナ禍で得た教訓として、厳しい状況を打開する一つのヒントがICTの活用であったとも言えます。

ICTを積極的に活用しながら、要所要所で対面によるコミュニケーションを取り入れていくようなハイブリッドな運営を考え、加盟館に役立つ協議会として再生する必要があると思います。

ご協力のほど、どうかよろしくお願いいたします。

知恵を借りて仕事の質を高める

名誉会長挨拶 毛利和弘（近畿大学）

約40年、大学に勤務し、そのうち35年ほど大学図書館に勤務しつつ教員の仕事もしていました。大学は4年制で、短大を併設していましたが、最初の頃は私立大学図書館協会に係わり、いろいろなお手伝いをしていましたが、短大の司書課程の某先生と縁ができ、いつしか短期大学図書館協議会のお手伝いをさせていただくようになりました。その折、印象的に覚えているのが短大図書館に勤務されている女性司書たちの優秀さでした。4年制大学の図書館では館員数が多いこともあ



てか、女性司書の多くの方が、サラリーマン化していて、司書というよりも自分の趣味を生きがいにしている現状を見ていましたので、正直驚きでした。そうしたこともあり、それ以降、短大図書館の方に重点を移すことになりました。しかし、短大プロパーの図書館の多くが、一人や二人での図書館運営であり、聞くための先輩がいなかったり、他の図書館の事情や対策に疎くなってしまうという現状があり、いくら優秀であっても、その優秀さを発揮できないことを知り、協議会の役割・重要性を知りました。それ依頼、「一人にらず、協議会のネットワークの仲間たちと手を繋ぎ合いながら素晴らしい仕事をする為に貢献したい」という強い思いで、関係を持ってきました。

また、図書館現場時代は、徹底して「学生の為に」「利用者の為に」何ができるかということに信条としておりました。その積み重ねにより、拙著『文献調査法』と『サクサク書ける!良いレポート・卒論』を生むことができ、現場を離れた今でも「学生の為に」「利用者の為に」という信条が生きていることに喜びを感じています。お釈迦様の教えにある「利他主義」は、「学生の為に」「利用者の為に」に通じるものだと思いますが、真に「学生の為に」「利用者の為に」なる仕事を成すには、やはり一人では難しいと思われま

恵を借りて質の高い仕事ができるように、十分に協議会を利用していただき、良い仕事に繋げていって欲しいと強く思います。

+++++

【2】2023年度 全国定期総会開催報告

日 時：2023年5月12日（金） 13：00～17：00

場 所：機械振興会館 B3-2 会議室

出 席：14館（24名）委任状59館、合計73館

司 会：林 浩次（前聖徳大学川並弘昭記念図書館）

記 録：高野 聡（新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館）

：成田優子（小田原短期大学図書館）

配付資料：全国総会議案書、私立短期大学図書館協議会規約、参加名簿、講演会レジュメ、
ワークショップ班分け表

総会の成立確認

・司会より協議会規約第11条に基づき、総会が成立したことが報告された。

会長挨拶

齊藤誠一会長（千葉経済大学短期大学部）より挨拶があった。

議長の選出

議長に吉村いづみ氏（名古屋文化短期大学図書館）が指名された。

記録人の指名・紹介

司会より、記録人として高野聡氏が指名された。

議題1. 2022（令和4）年度事業報告

本部事務局の林浩次氏（前聖徳大学川並弘昭記念図書館）より、総会議案書に基づいて報告があった。

1) 会勢 106館（2023年3月31日現在）

北海道地区 7館、東北地区 13館、関東・甲信越地区 42館、東海・北陸地区 11館、
近畿地区 14館、中国・四国地区 2館（休会）、九州地区 17館

入会館 なし

退会館【東海・北陸地区】1館

愛知江南短期大学附属図書館

【近畿地区】3館

大阪千代田短期大学図書館・大阪健康福祉短期大学図書館・池坊短期大学図書館

入会 賛助会員（個人）

杉田美香氏・今井智子氏

退会 賛助会員（個人）

谷口豊氏

館名変更 山梨学院大学総合図書館（旧 山梨学院総合図書館）

- 2) 全国理事会（出席 16 名）
日時：2022 年 5 月 13 日（金）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に続き開催方式をメール会議に変更し、Zoom による意見交換会を行った。
- 3) 全国定期総会（会員館 106 館中 78 館参加、28 館未提出）
日時：2022 年 6 月 10 日（金）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方式を「書面審議（メール会議）」に変更し、議案は原案通り承認された。また、記念講演会もオンライン開催となった。
記念講演会（オンライン開催）
開催形式：ZOOM を使用してのリモート形式（開催拠点・千葉経済大学短期大学部）
 - ・日時：2022 年 6 月 17 日（金）14:00～16:00
 - ・演題：『短期大学図書館員の持つべき能力と今後獲得すべき能力』
 - ・講師：大城善盛氏（元同志社大学教授）
 - ・参加者：46 館 63 名
- 4) 研究誌『短期大学図書館研究』第 42 号の刊行（2023 年 3 月）
木村修一理事（北海道武蔵女子短期大学）が担当した。
- 5) 広報（Web 公開）
「会報」No. 77 の作成（2022 年 5 月）前川和子理事（元大手前大学）が担当した。
 - ・ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約
 - ・委託先：エックスアmount 合同会社
 - ・『図書館年鑑』本協議会分の原稿を作成
- 6) 本部役員会 全 6 回開催（関東甲信越地区幹事会との合同開催）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 会議（Zoom ミーティング）とした。

議題 2. 2022（令和 4）年度決算報告および監査報告

- ・総会議案書案にて承認された。

議題 3. 2023（令和 5）年度新役員選出

- ・総会議案書案にて承認された。

議題 4. 2023（令和 5）年度事業計画案

- 1) 会勢 102 館（2023 年 4 月 1 日現在）
北海道地区 7 館、東北地区 13 館、関東・甲信越地区 42 館、東海・北陸地区 10 館、近畿地区 11 館、中国・四国地区 2 館（休会）、九州地区 17 館
- 2) 全国理事会
日時：2023 年 5 月 11 日（木）14:00～17:00
会場：林野会館

- 議題：① 2022 年度事業報告について
② 2022 年度決算報告および監査報告について
③ 2023 年度新役員の選出について
④ 2023 年度事業計画について
⑤ 2023 年度予算案について
⑥ その他

- 3) 2023 (令和 5) 年度全国定期総会
日時：2023 年 5 月 12 日 (金) 13:00~17:00
場所：機械振興会館 B3-2 館 会議室
議案：① 2022 年度事業報告
② 2022 年度決算報告および監査報告
③ 2023 年度新役員の選出
④ 2023 年度事業計画
⑤ 2023 年度予算案
⑥ その他

記念講演会：『短期大学図書館とアドボカシー』
講師：常世田良氏（日本図書館研究会理事・元立命館大学教授）
見学：機械振興協会経済研究所 B1C ライブラリ

ワークショップを指導する常世田氏



- 4) 2023 (令和 5) 全国研修会 (毛利和弘名誉会長が説明)
日程：2023 年 8 月 24 日 (木) ~25 日 (金) 2 日間
会場：神田外語大学附属図書館
テーマ：「広報も利用教育もお任せ！動画の活用法」
【1 日目】8 月 24 日 (木) 13:00~17:00
(1) 基調講演「YouTube をはじめよう」
講師：長濱峻平氏 (国際基督教大学図書館)
(2) 事例報告「オンライン動画の作成と活用法」
講師：吉野知義氏 (神田外語大学)

講師：佐藤有妃氏（佐久大学図書館）

【2日目】8月25日（金）10:00～14:45

- (1) 討議：「皆で解決しよう現場の悩み事」
- (2) 神田外語大学附属図書館見学会

5) 研究誌『短期大学図書館研究』第43号の刊行
担当：木村修一理事

6) 広報

「会報」No.78号の作成

担当：前川和子理事

・ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約

委託先：エクスアマウント合同会社

バナー広告

・『図書館年鑑』本協議会分の原稿作成

7) その他

特になし

議題5. 2023（令和5）年度予算案

- ・総会議案書案にて承認された。

議題6. その他

特になし

【3】2023年度全国研修会開催報告

2023年度私立短期大学図書館協議会全国研修会は、8月24日（木）から25日（金）にかけて、神田外語大学キャンパス7号館「クリスタルホール」を会場に行われた。対面での全国研修会は2018年から5年ぶりであり、全国から28名の図書館関係者が参加した。

今回の研修テーマは「広報も利用教育もお任せ！動画の活用法」として、コロナ禍を経て利用者教育等への活用が急速に拡大している動画の作成方法と実際の活用事例について3人の講師の先生から講演と報告をいただいた。

【1日目】令和5年8月24日（木）

【基調講演】

◆演題：「YouTubeをはじめよう」

◆講師：長濱峻平氏（国際基督教大学図書館）

◆内容：長浜氏からは、動画の作成からYouTubeで動画を公開するまでの手順について講演いただいた。ICU図書館では、コロナ禍をきっかけに利用者教育とPR・利用促進にYouTubeを活用するようになり、図書館ガイダンスの事前事後学習に使用し、学生からもわかりやすいと評価が高いとのことであった。実際のYouTubeのチャンネルの開設と動画の公開については、具体的な手順に沿って説明あり、初心者でも非常にわ

かりやすい内容であった。また動画の作成については、良くない動画の例を明示しながら、改善点を踏まえて説明があった。効果的な動画作成上の注意点として以下の5つの点が示された。

- ① 動画の時間は3分以内
- ② 字幕を付ける
- ③ 図書館への問い合わせ方法を示す
- ④ 質問・発問・課題を取り入れる
- ⑤ 大学や授業に関わる内容を含める



左から 長濱氏、吉野氏、佐藤氏

【事例報告1】

- ◆演題：「動画があふれるキャンパスで溺れそうな図書館のお話し」
 - ◆講師：吉野 知義 氏（神田外語大学図書館）
 - ◆内容：吉野氏からは、図書館でのサイネージにおける動画の活用事例について報告いただいた。神田外語大学では、2019年3月に学内全体でデジタルサイネージが導入され、運用は図書館が担当することになった。サイネージは学内29カ所に設置され、動画は各部署で作成している。共用スペースだけでなく各部署内にもサイネージを設置することで、サイネージで流れている動画を共有できる仕組みをつくり、共有することで各部署の動画作成スキルもアップしている。図書館ガイダンスでも動画を使用していて、動画を効率良く作成し、効果的に公開するかという観点から以下の3点が示された。
- ①「素材を集める」：無料サイトや人工音声を活用する。
 - ②「パターン化」：時間や進行をパターン化しPowerPointのスライドをテンプレート化する。ひと目で図書館の動画だとわかるロゴを使用する。
 - ③「公開」：YouTube等の動画配信サービスを使って、図書館WebサイトやSNSで簡単に公開できるようにする。

【事例報告2】

- ◆演題：「ガイダンス動画3つの作成事例：コロナ禍における試み」
- ◆講師：佐藤 有妃 氏（佐久大学図書館）
- ◆内容：佐藤氏からは、コロナ禍で作成したガイダンス動画等の作成事例について報告いただいた。授業を担当する図書館長からの依頼により作成した3種類の動画「バーチャル図書館ツアー」（ビデオ撮影）、「オンラインコンテンツ利用のヒント」（画面録画）「論文の探し方初級編」（音声入りスライドショー）について、具体的な作成手順とともに、苦労した点や改善点について説明があった。初心者でもこれだけの動画が作成できるということと、作成上の注意点として以下の4つの点が示された。
 - ①「時間」：1本の動画は時間を短くして分ける。
 - ②「見せ方」：音声や画面の色は明るくして、見出しをつけてわかりやすくする。
 - ③「クオリティ」：良い動画の真似をしてクオリティを高める。
 - ④「ハードル」：動画を定型化して作成に慣れることによって動画作成のハードルを下げる。

【2日目】令和5年8月25日（金）

【討議】「皆で解決しよう現場の悩み事」

2日目は最初に初日の講演と事例報告に関する質疑応答を行った後、「皆で解決しよう現場の悩み事」をテーマに、事前に参加者から寄せられた現場の悩み事について、参加者からアドバイスや他館の事例等を紹介してもらう「全員参加型の討議」を実施した。参加者から寄せられた悩み事の内容は多岐に渡り、参加者からも丁寧なアドバイスや様々な事例が紹介され時間内で収まりきらないほどであったが、参加者全員で討議を共有することができ、大変有益な時間となった。

【図書館見学】

神田外語大学の図書館は7号館の1階にあり、緑の大地と融合しているような特徴的な建物の外観だけでなく、館内の書架、展示架、机、椅子等の什器からサインに至るまでデザイン性が高く、居心地の良い空間を演出している。また、ほとんど壁がないオープンフロアは樹木が設置できるほど天井が高く開放感溢れる図書館であった。2階には各国の建物を配置して、現地に旅し留学する感覚を味わいながら、言語と文化を学ぶことができるMULC（マルク）とセミナールーム、クリスタルホールがあり、3階には学食のKUISカフェがあり、学生が集まる導線に図書館を設置することで、学生の図書館の利用を促すように設計されている。

+++++

【4】事務局報告

▼▼2023（令和5）年度 全国理事会開催報告▼▼

日時：2023年5月11日（木） 14:00～17:00

場所：林野会館 603会議室

出席者：16名（敬称略）

【本部】

会 長	齊藤 誠一（千葉経済大学短期大学部）
常任理事（会報担当）	前川 和子（前大手前大学）
理 事（会計担当）	石田 孝夫（前カリタス女子短期大学）
事 務 局	林 浩次（前聖徳大学川並弘昭記念図書館）

監査 今井 智子（文化学園大学）
広報 高野 聡（新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部）
名誉会長 毛利 和弘（近畿大学） 以上 7 名

【地区】

[北海道] 柳橋 望（北海道武蔵女子短期大学）
[東北] 遠藤 修司（桜の聖母短期大学）
[関東甲信越] 叶多 泰彦、渡邊 直子（千葉経済大学短期大学）
[東海・北陸] 吉村 いづみ、小林 薫子（名古屋文化短期大学）
[近畿] 桑田 祐作（大阪芸術大短期大学）
[九州] 河野 洋子、竹下 真由美（香蘭女子短期大学） 以上 9 名

司会：齊藤会長

配付資料：①議事次第、役員名簿、出席者名簿

②各地区報告書、通信等

③全国総会資料

1. 会長あいさつ

理事会の開催にあたって、齊藤会長より挨拶があった。

2. 報告とお願い

齊藤会長より、①研究誌『短期大学図書館研究』について、各地区の研修会での講演、事例報告は、ぜひ論稿化してほしい。特に研修会で講演をされる講師の方々にはあらかじめ論稿化のお願いをしていただきたい。また、館員等の論稿は業績になることを認識していただきたい。②本協議会の会員数が減る傾向にある中で、財政面の観点からも各地区で、新規賛助会員（団体）（最低1社）の勧誘をお願いしたい。また図書館を退職された方にも声をかけて個人賛助会員として勧誘してほしい。

3. 自己紹介

出席者 16 名の自己紹介があった。

4. 各地区事業報告

北海道地区から順に昨年度の地区事業報告及び決算報告、本年度の会勢と事業計画案及び予算案が報告された。

近畿地区理事担当の桑田祐作氏より、近畿地区協議会の加盟館が減少していることについて、アンケート調査を行った。結果として、休会は望まないが、館員が1名や1名以下の図書館は、輪番制の当番表とおりに役員館が出来ない、また役員館が出来る図書館が少なくなってきた。このような近畿地区協議会を今後どのように運営していくのかが課題になっているという報告があった。

地区協議会の運営については、本協議会としても検討することになった。

5. 総会について

事業報告、決算・監査報告、新役員案、事業計画、予算案の確認を行った。

(1) 総会議長について

総会の議長は理事会メンバーから選出するのが恒例になっていることから、齊藤会長より本部事務局案として名古屋文化短期大学図書館の吉村いづみ氏の推薦があった。協議の結果、

議長は吉村いづみ氏にお願いすることになった。

(2) 事業報告、決算、監査報告

事務局の林氏より 2022 年度の事業報告の後、会計担当の石田氏から決算報告があった。監査報告は監査人の今井氏から報告があった。

(3) 新役員の選出について

事務局の林氏より 2023 年度私立短期大学図書館協議会役員名簿（案）が示され、東海・北陸地区、近畿地区、九州地区がそれぞれ理事館の交代があったことを報告された。その他役員については、2023 年度私立短期大学図書館協議会役員名簿案のとおり、了承された。

(4) 事業計画、予算

事務局の林氏より 2023 年度事業計画案の確認の後、会計担当の石田氏から予算案について説明があった。

6. 全国研修会（2023 年度実施）について

全国研修会担当の毛利名誉会長より、2023 年度の全国研修会について次のとおり提案があった。

テーマ：「広報も利用教育もお任せ！動画の活用法」

日程：2023 年 8 月 24 日（木）～25 日（金）2 日間

会場：神田外語大学キャンパス 7 号館「クリスタルホール」

【1 日目】8 月 24 日（木）13：00～17：00

(1) 基調講演 「YouTube をはじめよう」

講師：長濱峻平氏（国際基督教大学図書館）

(2) 事例報告「オンライン動画の作成と活用法」

講師：吉野知義氏（神田外語大学図書館）

講師：佐藤有妃氏（佐久大学図書館）

【2 日目】8 月 25 日（金）10：00～14：45

(1) 討議「皆で解決しよう現場の悩み事」

(2) 神田外語大学図書館見学会

7. 地区情報交換会

本部会計担当の石田氏より、会計業務を電子化したいという提案があった。会計業務のうち電子決済が可能な部分について、具体的な実施に向けて検討することになった。

▼▼本部役員会（関東甲信越地区幹事会との同時開催）▼▼

第 1 回 2023. 5. 12（金）機械振興協会経済研究所 BIC ライブラリ

第 2 回 2023. 7. 28（金）Web 会議（Zoom）

第 3 回 2023. 9. 21（木）Web 会議（Zoom）

第 4 回 2023. 11. 24（金）Web 会議（Zoom）

第 5 回 2024. 1. 26（金）Web 会議（Zoom）

第 6 回 2024. 3. 29（金）株式会社内田洋行 第 2 オフィス Web 会議（Zoom）

第 7 回 2024. 4. 26（金）Web 会議（Zoom）

※ 本部役員が全国にいるため、Web 会議（Zoom ミーティング）とした。

+++++

【4】地区活動報告

<北海道地区>

▼▽2023年度事業報告▽▼

1. 会勢 (2023年4月1日現在) 7館
 - 入会館: 0
 - 退会館: 0

2. 2023年度第1回役員会 (web会議)
 - 期間: 2023年4月28日 (金)
 - 出席: 4館 (5名)
 - 議事:
 - 1) 2023年度総会の議題について
 - 2) その他

3. 2023年度総会 (web会議)
 - 期間: 2023年4月28日 (金)
 - 出席: 5館 (5名)
 - 議事:
 - 1) 2022年度事業報告
 - 2) 2022年度決算報告および監査報告
 - 3) 2023年度事業計画案
 - 4) 2023年度予算案
 - 5) 2022・2023年度の役員館
 - 6) その他

4. 2023年度第1回北海道図書館連絡会議兼第63回 (2023年度) 北海道図書館大会運営委員会 (第3回) 会議出席
 - 期間: 2023年6月14日 (水)
 - 議事: 第63回 (2023年度) 北海道図書館大会の開催要項確認

5. 第63回北海道図書館大会
 - 期間: 2023年9月7日 (木) ~8日 (金)
 - 内容: 第1分科会「利用者の多様性に配慮したプレゼンテーション (伝え方) について」(柿山浩一郎氏 (札幌市立大学デザイン学部教授) の企画・運営を担当)

6. 2023年度第2回北海道図書館連絡会議兼第64回 (2024年度) 北海道図書館大会運営委員会 (第1回) 会議出席
 - 日時: 2023年11月24日 (金)
 - 議事: 第63回 (2023年度) 北海道図書館大会の実施状況報告、第64回 (2024年度) 大会構成・開催方法の検討

7. 2023年度第2回役員会 (メール会議)
 - 期間: 2023年12月5日 (火)
 - 出席: 4館 (4名)
 - 議事: 北海道図書館大会実施状況報告、第64回 (2024年度) 北海道図書館大会のテーマ案募

集

8. 北海道地区協議会 2023 年度研修会開催

○日時：2023 年 12 月 8 日（金）

○出席館：3 館 8 名

9. 第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会運営委員会（第 2 回）会議出席（web 会議）

○日時：2024 年 1 月 18 日（木）

○議事：第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会テーマ・大会構成等について

10. 2023 年度第 3 回役員会（web 会議）

○期間：2024 年 2 月 5 日（月）

○出席：4 館（4 名）

○議事：北海道図書館大会運営委員会（第 2 回）報告、大会基調講演講師案および分科会講師・テーマ案の募集

11. 2023 年度第 3 回北海道図書館連絡会議兼第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会運営委員会（第 3 回）会議出席

○日時：2024 年 2 月 27 日（火）

○議事：第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会基調講演講師選定、開催要項の検討

12. 「北海道地区協議会通信」No. 45（2024 年 3 月 31 日）発行

<東北地区>

▼▽2023 年度 事業報告▽▼

1. 会勢（2023 年 4 月 1 日現在） 13 館

○入会館 0

○退会館 0

2. 2023 年度東北地区協議会 総会（書面審議）

東北地区では令和 4 年度から加盟館 13 館の承認を得て、総会は書面審議となった。

2023 年度は 4 月 17 日（月）～5 月 2 日（火）の期間に書面審議を行った。2022（令和 4）年度の事業報告、決算報告、会計監査報告と 2023（令和 5）年度の事業計画、予算が承認された。

3. 2023 年度 研修会・情報交換会

○研修会を対面で開催した。

1) 研修会「本の製本・本の修理」 講師：株式会社 キハラ

開催日：2023 年 9 月 15 日（金）13:00～16:00 参加館 7 館、参加者 10 名

開催場所：桜の聖母短期大学 図画工作室

内容：本の表紙と中身を完全に取り外し元に戻す作業を体験する実践的研修。

2) 情報交換会

開催日：2023 年 9 月 15 日（金）17:00～19:00 参加館 6 館、参加者 9 名

開催場所：ウェディング・エルティ 対面での情報交換会の必要性を認識することができた。

+++++
<関東甲信越地区>

▼▼2023年度事業報告▼▼

1. 会勢 (2023年4月1日現在) 42館

- 入会館 なし
- 退会館 なし

2. 2023年度通常総会 (書面審議)

○日時: 2023年5月12日 (金)

会場: BIC ライブラリディスカッションルーム (機械振興会館地下一階)

参加: 33館 (出席館8館、委任状25館、未提出9館)

○議事:

- 1) 2022年度事業報告
- 2) 2022年度決算報告・監査報告
- 3) 2023年度幹事校
- 4) 2023年度事業計画案審議
- 5) 2023年度予算案審議

3. 2023年度第1回合同幹事会

○日時: 2023年5月12日 (金) 12:00~12:30

○出席: 8館 (10名)

○議事:

- 1) 2023年度全国総会について

4. 2023年度第2回合同幹事会 (Web会議 (Zoom))

○日時: 2023年7月28日 (金) 14:00~16:40

○出席: 9館 (11名)

○議事:

- 1) 関東甲信越地区協議会通常総会の報告について
- 2) ホームページについて
- 3) 今年度の会費の徴収について
- 4) 未加盟館勧誘文書発送について
- 5) サポート幹事について

5. 2023年度第3回合同幹事会 (Web会議 (Zoom))

○日時: 2023年9月21日 (金) 14:00~16:00

○出席: 9館 (10名)

○議事:

- 1) 令和5年度全国研修会について
- 2) 次期幹事館について
- 3) 幹事校の業務について

6. 2023年度第4回合同幹事会 (Web会議 (Zoom))

○日時：2023年11月24日（金）14：00～16：00

○出席：8館（10名）

○議事：

- 1）今年度の会費徴収について
- 2）次期幹事館について
- 3）幹事館の業務について

7. 2023年度第5回合同幹事会（Web会議（Zoom））

○日時：2024年1月26日（金）14：00～16：00

○出席：9館（10名）

○議事：

- 1）図書館年鑑 2024年版報告原稿について
- 2）2024年度幹事について
- 3）2024年度理事会、総会、地区総会、講演会について
- 4）2024年度本部予算・地区予算の編成について
- 5）関東甲信越地区協議会会報について

8. 2023年度第6回合同幹事会（内田洋行新川第二オフィス・Web会議（Zoom））

○日時：2024年3月29日（金）14：00～15：45

○出席：9館（11名）

○議事：

- 1）入退館状況について
- 2）関東甲信越地区協議会会報第63号について
- 3）2024年度関東甲信越地区総会について
- 4）関東甲信越地区2023年度決算報告・2024年度予算編成について

9. 『関東甲信越地区協議会会報』63号（2024年3月発行）

10. 2023年度関東甲信越地区協議会研修会について

○全国研修会と共同で開催した。

- 1）日時：2023年8月24日（木）～25日（金）
- 2）会場：神田外語大学キャンパス7号館「クリスタルホール」
- 3）参加：28名（16館）
- 4）テーマ「広報も利用教育もお任せ！動画の活用法」

講師：長濱 峻平氏（国際基督教大学図書館）

吉野 知義氏（神田外語大学図書館）

佐藤 有妃氏（佐久大学図書館（信州短期大学部））

+++++

<東海・北陸地区>

▼▽2023年度事業報告▼▽

1. 会勢（2023年4月1日現在） 10館

2. 2023年度第1回幹事会（WEB会議）

○期間：2023年6月9日（金）15:00～16:00

○出席：3館

○議事：

- 1) 役員交替について
- 2) 2022（令和4）年度事業報告について
- 3) 2022（令和4）年度決算報告および監査報告について
- 4) 2023（令和5）年度事業計画案について
- 5) 2023（令和5）年度予算案について
- 6) 会長校・地区幹事校の輪番について
- 7) 2023（令和5）年度総大会の実施について
- 8) その他

3. 2023年度総会・研修会

(1) 総会 名古屋文化短期大学図書館

○期間：2023年9月1日（金）13:00～17:00

○出席：9館、欠席：1館

○議事：

- 1) 報告事項
 - ・2023（令和5）年度会勢報告
 - ・2023（令和5）年度役員紹介
 - ・2022（令和4）年度事業報告について
 - ・2022（令和4）年度決算報告および監査報告について
- 2) 審議事項
 - ・2023（令和5）年度事業計画案について
 - ・2023（令和5）年度予算案について
 - ・会長校、地区幹事校の輪番について
 - ・2024（令和6）年度役員の確認
 - ・その他

(2) 研修会

- 1) テーマ：「ウエルビーイングな図書館サービスの実現に向けて～地域活性化・連携・レファレンスサービスをキーとして」

講師：齋藤 誠一氏（私立短期大学図書館協議会会長）

- 2) テーマ：「映画鑑賞：イギリス映画はおもしろい！」

講師：吉村 いづみ氏（名古屋文化短期大学図書館長）

4. 2023年度第2回幹事会（メール会議）

○期間：2024年3月11日（月）～3月15日（金）

○出席：3館

○議事：

- 1) 2023（令和5）年度事業報告について
- 2) 2023（令和5）年度決算報告について
- 3) 2024（令和6）年度会長校・地区幹事校について
- 4) その他

+++++

東海・北陸地区協議会では、2023年度は3年ぶりの対面での総会において、テーマ「ウエルビーイングな図書館サービスの実現に向けて～地域活性化・連携・レファレンスサービスをキーとして」（講師：私立短期大学図書館協議会会長 齋藤誠一氏）と「映画鑑賞：イギリス映画はおもしろい！」（講師：名古屋文化短期大学図書館長 吉村いづみ氏）を開催した。そのあとの情報交換会は全10館に対して9館15人の参加であった。講演者と参加者が有意義な時間を共有し、図書館の利用者へのサービスをどう展開していくか、今後の課題として検討した。

+++++

<近畿地区>

▼▽2023年度事業報告▽▼

1. 会勢 加盟館数（2023年4月1日現在）11館、中国・四国地区2館（オブザーバー）

○入会館 0館

○退会館 1館（近畿地区）

京都文教短期大学図書館（2024年3月31日付）

2. 2023年度 活動報告

（1）総会

○日 時：2023年4月21日（金）14：00-14：45

○場 所：神戸女子大学・神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパス図書館
（対面およびリモートによる開催）

○出席館：11館（オブザーバー2館を含む13名） 欠席館：2館（すべて委任状提出済）

○議 題：1）会務報告について

2）2022年度活動報告について

3）2022年度決算報告および監査報告について

4）2023年度役員館選出について

5）2023年度活動計画について

6）2023年度予算について

（2）研修会

第1回

○日 時：2023年4月21日（金）15：00-17：00

○場 所：神戸女子大学・神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパス図書館
（対面およびリモートによる開催）

○内 容：「図書館で大学職員のSD力向上を考える～合言葉は“教学相長”～」

○講 師：橘 みちほ 氏

（神戸女子大学・神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパス図書館）

○参加者：13名（11館より）

第2回

○日 時：2023年8月22日（火）10：45-15：35

2023年8月23日（水）10：45-16：25

○場 所：リモートによる開催

○内 容：大学図書館近畿イニシアティブ 初任者研修

丸善雄松堂株式会社提供の「大学図書館業務基礎編」7科目
資料は近畿イニシアティブのホームページに掲載

第3回

- 日時：2023年9月1日(金) 14:00-16:00
- 場所：大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部図書館（対面およびリモートによる開催）
- 内容：「著作権よもやま話～やっていいこと、だめなこと～」
- 講師：田村 俊明 氏（株式会社紀伊國屋書店）
- 参加者：55名（33館ほかより、対面 7館ほか9名、リモート 26館ほか46名、
うち近畿地区 対面 6館7名、リモート 1館1名、
同中国・四国地区 対面 1館1名、リモート 1館1名）

(3) 幹事会

第1回

- 日時：2023年6月21日(水) リモートによるオンライン会議
- 議題：第2回（実際は第3回）研修会の開催について、年会費の納入について、
新旧役員館の各担当業務引継ぎ連絡等、その他

第2回

- 日時：2023年12月18日(月) リモートによるオンライン会議
- 議題：次年度総会の開催について、次年度第1回研修会の開催について、
次年度役員館について、退会館について、その他
※次年度総会および第1回研修会の開催日に関するアンケート調査の実施

第3回

- 日時：2024年1月18日(木) リモートによるオンライン会議
- 議題：次年度総会および第1回研修会の開催について、各役員館の担当業務の進捗、その他

その他

- 日時：2024年4月1日(月)～24日(水) メールによる随時打ち合わせ
- 内容：2024年度総会および第1回研修会について

+++++
<中国・四国地区> 休会

+++++
<九州地区>

▼▽2023年度事業報告▽▼

- 1. 会勢（2023年4月1日現在） 17館
 - 入会館 0館
 - 退会館 0館

2. 2023（令和5）年度九州地区私立短期大学図書館協議会総会

○日時：2023年4月

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「書面回議」とした

○議事

- 1) 2022（令和4）年度事業報告・決算報告および監査報告
- 2) 2023（令和5）年度事業計画・予算(案)
- 3) 令和5年度役員館について

3. 2023（令和5）年度九州地区私立短期大学図書館協議会夏期研修会

○日時：2023年9月8日（金） 13：30～16：30

○場所：香蘭女子短期大学

○出席：12館（17名）

テーマ：「短大図書館の現状と課題解決について」（情報交換）

4. 九州地区協議会加盟館名簿の作成（担当：精華女子短期大学附属図書館）

5. 「ニューズレター」第46号（2024年1月）発行（担当：福岡こども短期大学図書館）



【6】災害対策と短期大学図書館 地区報告：

<北海道地区>

■災害時の用意等について

北海道地区では4月26日（金）に開催した役員会・総会において参加館（4館）に聞き取りを行った。共通して実施していたのは書架の固定で、これは参加館すべてで実施していた。また、多くは書架に落下防止シートを貼付しており、全書架の上部1段目あるいは2段目まで貼付しているところや、参考図書の上段2段目まで貼付しているというところがあった。他にもブックエンドをすべて滑り止め付に変更したり、学生に手動書架の固定ロックについて説明したり、できるだけ棚の最上部には本を置かない、書架から本が飛び出すのを少しでも軽減するため、背表紙を1cmほど棚の奥にずらして配架しているなどの例があった。

なお、北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学附属図書館で実施している地震対策は次のとおりです。

- ・参考図書棚の上部2段に滑り止めシートを貼る
- ・書架を固定
- ・地震で書架から本が飛び出すのを少しでも軽減するため、背表紙を1cmほど棚の奥にずらして配架
（担当 柳橋望）

<東北地区>

桜の聖母短期大学図書館情報センターの場合、危機管理に関しては短大全体を危機管理部長が管理しています。

図書館独自で実施していることは、書架に並べている図書の転落防止として、滑り止めシールを

書架に張り付けています。

また、本学は地域開放を実施していますが、その危機管理については、図書館を利用する場合は、必ず事前に利用登録をしてもらいます。来館される折は、短大受付で入館記録に記載してからの利用ということを実行しています。
(担当 遠藤修司)

<関東甲信越地区>

関東甲信越地区協議会の加盟館に対して行ったアンケート調査では、災害時の大学全体の対応として、避難訓練の実施や非常食の備蓄、安否確認システムの構築を行っていることが報告された。図書館内では「地震が来たらすぐに本棚から離れ大きい机の下に避難してください」「地震が来たらここに逃げてください」という掲示をしている、地震の際に本が落ちてこないよう書架の棚板に落下抑制テープを貼っている、学内の避難訓練に合わせて避難経路や館内の危険個所などを確認している、などの回答があった。

日頃からの習慣として、避難確保のため狭い通路に物を置かないようにする、小さな地震であっても必ず館内を見回って書架の間から出るよう来館者へ声かけをする、また、学生に館内滞在時に地震にあった際の避難についてオリエンテーションで伝達する、などの回答があった。今後の課題として、夜間や土日も開館している図書館では、専任職員が不在の時に災害が発生した際の対応が挙げられた。

アンケートにご協力いただきました加盟館の皆様、ありがとうございました。(担当 渡邊直子)

<東海・北陸地区>

2024年1月1日の能登半島地震に際して富山短期大学図書館で被害があった。蔵書は開架書架に約6万冊、可動式閉架書架に約4万冊を配架していたが、今回の地震で、6段書架の1, 2段、蔵書の3割強が落下した報告を受けた。富山短期大学図書館によると分類上、上段に重みのある本を配架していたことに改めて気づき猛省したようだ。また、金属製のブックエンドが館内に散乱しており、これらも強い揺れの中では凶器になったのではないかと推測し、改めてこの度の地震が休館中であったことに安堵したとも報告された。現在はまだ余震があり、暫くは重みのある図書は床に並べている。図書館として命を守る行動をもう一度考えたい。
(担当 西尾 綾)

<近畿地区>

このたびの能登半島地震により被災された図書館員と利用者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

今回は、図書館における防災・減災への取り組みについて、大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部図書館の事例を以下のとおりご紹介します(ただし原文の儘引用)。

「本学の対策としましては、2018年6月大阪北部地震の際、図書館約1万冊が書架から落下した事から、書架の上2段に、落下防止装置の設置をおこなっております。震度レベル4以上の揺れで装置が働き、落下を防止します。開架式書架の上2段688段に設置済みです。それに伴い、書架よりはみ出て横置きをしている図書は代本版(台本板・代書板)を使い、同じ書架の一番下などに移動しました。

また監視カメラでとらえた地震の際の落下状況の映像を新しい職員や学生バイトに見てもらい、地震の際は書架から離れるよう指導しております。」

大阪芸術大学短期大学部図書館は1995年の阪神淡路大震災での被災を教訓として、壁際に設置しているすべての書架(ラック形式)の固定化や書架の上積みの取り止めに努めました。

しかし、今回報告していただいた事例をもとに、災害発生時の危険性や対応策における図書館員を含めた全奉仕者への周知徹底など、ハード面のみならずソフト面も充分配慮しなければならないことを痛感しました。
(担当 桑田祐作)

<四国・中国地区> 休会

<九州地区>

2024 年は能登半島地震に始まり各地で地震が発生している。

香蘭女子短期大学図書館の災害対策としては、2005 年（平成 17 年）の福岡県西方沖地震を経験した事により、普段から緊急時には迅速に的確な判断が出来るよう備えておく必要があると考えている。そこで以下のような館内の点検・確認を継続して行っている。

- ・災害時の館内利用者への避難誘導の確認、訓練を年に 1 回行っている
- ・落下の恐れのある展示物には滑り止めシートを敷く
- ・高所への大型本の配架をしない
- ・ケースやロッカーなどの備品類は壁または天井へ固定する
(担当 竹下真由美)

【5】編集後記 会報第 79 号をお届け致します。

- ・2024 年元旦の能登半島地震は、日本では常に地震災害の危機があることを強く示しました。多くの方々が被災され、まだインフラの完全な復旧もなされていない状況です。阪神淡路大震災後の兵庫県も、すっかり立ち直ったわけではない事を関西に住む編者は身に染みしています。どうぞ一日も早い復旧を心から願っております。
- ・今号は短期大学図書館において、どのような被災対策をされているかを、各地区に問い合わせ、書いて頂きました。忙しい毎日の図書館サービスの中で、小人数であっても様々な工夫をされていることが分かりました。その工夫・アイデアを、会員館で共有されることを願っています。
- ・また、当会報 79 号は、COVID-19 を経て（共存していますが）、再び対面の図書館活動が戻ってきたことを記録しています。
- ・会報 79 号が無事発行できましたのは、地区理事の皆様、本部事務局のご協力のおかげです。ご協力に感謝申し上げます。
(前川)

私立短期大学図書館協議会 会報 第 79 号 2024.5 発行

※バックナンバー <http://shitantokyo.org/bulletin/bucknumber.php/>

※メールマガジンへのご意見・お問い合わせは、編集前川まで

+++++
発行：私立短期大学図書館協議会 <http://shitantokyo.org/> 会長 齋藤誠一

本部事務局 〒263-0021 千葉市稲毛区轟町 3-59-5 千葉経済大学総合図書館

Tel.043-253-9941

会報編集：前川和子 (maekwkz@gmail.com)

No. 79 end -----